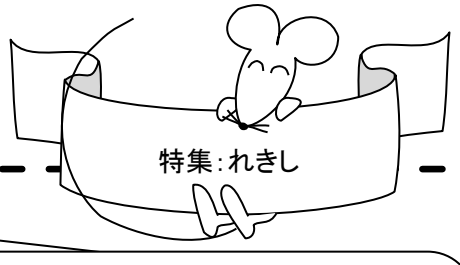
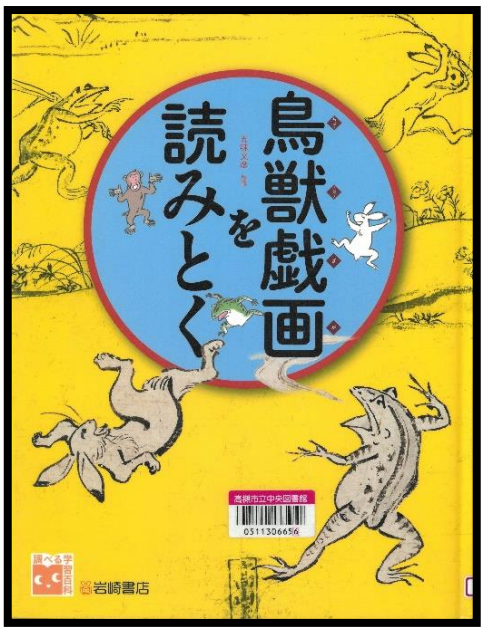


鳥獣戯画を読みとく　調べる学習百科



五味　文彦/監修

岩崎書店〔721〕

『鳥獣戯画』は 800 年以上も昔にかかれた絵巻物。とても貴重で、国宝に指定されています。

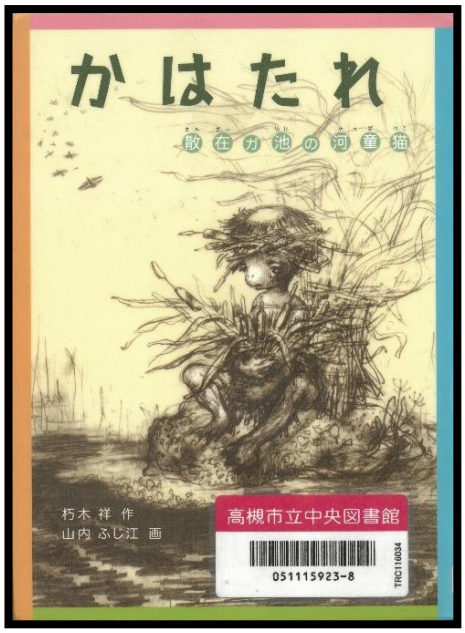
鼻をつまんだうさぎが川にドボーン！相撲や弓矢の対決で盛り上がる動物たち。そして突然でてくる猿のお坊さん。

この本では、うさぎとかえるが活躍する「甲巻」を中心に紹介しています。人や動物がユーモラスにえがかれ、まるでマンガのよう。文章がないので、見る人の想像力をかきたてます。

そもそも、だれが何のためにかいたのか？不思議が多い『鳥獣戯画』のなぞにせまります。

高槻市立中央図書館　ちゅうちゅうニュース　令和 3 年 10･11･12 月号　＜中学年向け＞

かはたれ　散在ガ池の河童猫



朽木　祥/作

山内　ふじ江/画

福音館書店〔913クツ〕

ひとりぼっちで暮らす子どもの河童・八寸は、長老河童の言いつけで、猫に姿を変えて人間の世界へ修行に行きます。そこで八寸が出会ったのが、5 年生の女の子・麻でした。母をなくしたばかりの麻は、自分のどんな気持ちにも自信が持てなくなっていました。

八寸はいっしょに暮らすうちに、麻が自分と同じ気持ちをたくさん持っていることに気がつきます。

子河童の八寸が猫としてすごしたひと夏の物語です。4 年後をえがいた続編『たそかれ』もあります。

ジャンポールという名の魚

ブリジット・スマッジャ/作
末松　氷海子/訳　小泉　るみ子/絵
文研出版〔953ス〕

ジュリアンは、お母さんとお母さんの婚約者の三人で暮らしている。別れて住むお父さんは考古学者で、発掘の仕事がいそがしく、あまりジュリアンとの時間をとることができない。

ある朝、ジュリアンが目をさますと、金魚鉢の中で金魚のジャンポール・サルトルが死んでいた。早朝だったので、お母さんはとりあってくれず、婚約者は金魚をトイレに流してしまった。

ふくざつな家族関係に傷つきなやむジュリアンが、同じように問題をかかえた少女とかかわり、成長していきます。

高槻市立中央図書館　ちゅうちゅうニュース　令和 3 年 10･11･12 月号　＜中学年向け＞

野生のロボット

ピーター・ブラウン/作・絵
前沢　明枝/訳
福音館書店〔933ブラ〕

あらしで、貨物船から海に落ちた荷箱が一つ、無人島に流れ着いた。それを見つけた島のラッコたちがいじっていると、何かスイッチが入った。すると「こんにちは。わたしはROZZUM7134型です。ロズとよんでください。」と音がし、箱からロボットが出てきた。

目覚めたばかりのロボット、ロズは、島の動物から、おそれられ仲間はずれにされてしまう。しかし、かれらをまねし、かれらの言葉を覚え、生き方を学んでいく。大自然の一部になった野生のロボットのおはなし。

ロズのその後は、『帰れ野生のロボット』で知ることができます。